



日本金融経済研究所代表理事／経済アナリスト

馬 淵 磨 理 子

Mabuchi Mariko

大阪公立大学客員准教授
イー・ギャランティ社外取締役
楽待社外取締役

出身地 滋賀県

学 歴 京都大学 公共政策大学院

趣 味 ヨガ

ペット ネコ

京都大学公共政策大学院 修士課程を修了。
トレーダーとして法人のファンド運用を担う。
その後、金融メディアのシニアアナリストを経て、現在は、
一般社団法人日本金融経済研究所 代表理事、大阪公立大
学客員准教授に就任し、企業価値向上の研究を大学と共
同研究している。

WORKS

主な出演番組

フジテレビLiveNewsα
TBS「Nスタ」
TokyoFM ビジトピ
かんさい情報ネットten.
飯田浩司のOK! Cozy up!
NHK「日曜討論」
フジテレビ「日曜報道」
BSフジ「プライムニュース」など



執 筆



日経マネー、
東洋経済などで執筆



馬淵磨理子オフィシャルサイト
<https://mabuchimariko.jp/>



馬淵磨理子オフィシャルブログ
<https://ameblo.jp/mabuchi-mariko/>



一般社団法人 日本金融経済研究所
<https://jrife.or.jp/>



公式インスタグラム
<https://www.instagram.com/mabuchimariko/>



馬淵磨理子(日本金融経済研究所)
<https://x.com/marikomabuchi>



馬淵磨理子の株式クラブ
<https://www.youtube.com/@mabuchi-mariko>

マネージャーから見た 馬淵 磨理子のパブリックイメージ

番組の空気を壊さず、理解度と信頼感を確実に引き上げる。
「また呼びたくなる」理由が、コメントに表れるアナリスト。

馬淵磨理子は、経済を「専門家の世界」に閉じ込めず、生活者や働く人の感覚に近い言葉へと翻訳できる経済アナリスト、という印象が定着している。

数字やデータを軸に冷静に語りながらも、難解さや距離感を感じさせない語り口が特徴で、視聴者に「ちゃんと理解できた」という安心感を残す存在。

メディアにおいては、強い主張で目立つ論客ではなく、番組の流れを整え、理解を補強する“安定感のある解説者”。

テロップやナレーションに落としやすいコメントが多く、制作側からは「使いやすく、また呼びたい人材」として信頼されている。

また、女性アナリストとしての柔らかさと、市場分析における客観性を両立している点は、幅広い層に受け入れられる大きな強み。経済を“難しい話”ではなく、“自分の生活につながる話”として届けられる、現代のニュース番組に欠かせないバランス型の専門家である。



アピールポイント

経済を「生活の言葉」に 翻訳できる解説力

数字や市場動向を並べるだけでなく、それが企業・働き方・家計にどうつながるのかを自然に示せる。
視聴者に「理解できた」という実感を残せる点が大きな強み。

番組の空気を整える、 冷静で安定した存在感

感情を煽らず、断定しすぎない語り口で、ニュース番組や経済特集のトーンを安定させられる。
報道系番組に安心して起用できる希少なアナリスト。

現場感のある視点と、 判断材料を示す力

「いま何を見ておくべきか」「どう備えるべきか」といった判断のヒントを現実的な視点で提示できる。
視聴後に“行動につながる気づき”を残せる点が評価されている。



馬淵磨理子さんは、経済という少し距離を感じやすいテーマを、自然と私たちの生活の延長に置いて話してくれるアナリストです。落ち着いた語り口で、一つひとつ丁寧に説明してくれるので、「安心して聞いていられる」という印象を持たれる方が多いです。番組や講演の場でも、空気を乱すことなく、むしろ全体をやわらかく整えてくれる存在。いつも安心してお願いできる方だと感じています。